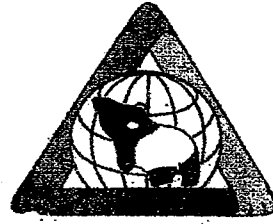


# エコネット町田 通信

ECONET Machida Newsletter



## 町田エコフェスタの報告 町田市庁舎の内外に100のブースで賑わう！

28回目となる町田エコフェスタは10月6日（日）、市庁舎1～3階と外側の空地を利用して開催されました。

本エコフェスタは増え続ける大量のごみ問題の対応が大きな社会問題となっていた時期に、「町田ごみフェスタ」としてスタートしたのが始まりです。

エコネット町田は広報部会の実行委員として永年携わり、ゴミ・環境問題など市民広報・啓蒙活動を続けています。昨年は台風来襲で急遽中止となり、町田市庁舎での開催は2回目です。今回のフェスタでの出展（店）数は模擬店を加えると100で、内訳は行政・市民団体のPRブースが36、再利用された品などの展示販売ブースが10、市民の人気が高いフリーマーケットが60店でした。

当日は開場前から長蛇の列が並び、中高年、学生や小さなお子さん連れの若い方も多く、多数の来場をいただきました。

町田市からは環境資源部を中心に道路部、下水道部、子ども生活部から出展のほか「ごみ収集車みえるくん」等も展示され、町田市が進める環境関係行政が俯瞰できる形でした。今回はフリーマーケットを2階・3階に集約し、メイン会場は1階に設営。フリマは身の周りの商品が多く、値段を見ると100円、200円、300円と超お買い得の品で溢れており、皆さん袋一杯にして嬉しそうな様子でした。出展関係者を含めると来場者は8千人近くになったようです。（瀬川記）



開場前にならぶ長蛇の列

## 鶴二小へ出前講座を行う

11月20日、今年も鶴二小の3年生約80名を対象に出前講座を行いました。  
当会から2名が参加。学校側は担任のほか校長先生も終わりまで同席していました。

3年生は現在地域を知る学習をしているとのこと、当会にはその一環として真光寺川と真光寺川を清流にする会についての説明を依頼されましたが、なかで生徒の関心の強い生き物たちやボランティアとして清掃を続けてこられた「思い」にも触れて説明してほしいとの依頼もあり、これらを踏まえてお話しをしました。

真光寺川の生き物についてはモニターへ生き物を映写しながら行いました。またボランティアについては、会がスタートして19年、「川をきれいにし、子供が遊べるふるさとの川へしたい」との強い思いで活動を続けてきたことを伝えました。また今年7月の川まつりの動画を見てもらいました。その後たくさんの質問も出、時間がオーバーしてしまいました。最後に来年の川まつりには是非遊びに来て、川に関心を持って下さいとお願いしました。

(記:真光寺川部会 黒田 健夫)



## 南成瀬小学校5年生へのフィールドワーク

10月16日、南成瀬小学校への野外教室を実施しました。この時期、涼しくなってきたおり川に児童に入れるのは迷いもありましたが、当日は晴天に恵まれました。今回は担任の先生と事前に役割分担を決めて備え、児童は2クラスの75名全員が体育着で大喜び。学校で留意事項などを説明後現地に移動し、最初はクラス別の水質調査。透視度は当日の川と近くの釣り堀(弁天池)の水との比較をしました。

薬品(COD)による調べも行い恩田川の水質の現況も観察しました。昔の恩田川のことをふれ、最近水がきれいになってきた背景も説明しました。

その後、清掃と生物調べは二人組になりに行いました。清掃では廃プラスチックが社会問題になっており、回収したごみの実態を見てもらいました。

魚とりなど生物調べは採取が出来ないようでしたが、要領を覚えると小さな川魚やエビ、水生昆虫などがクラス別のバケツにいっぱいになっていました。(瀬川記)

## 東京のあすを創る協会イベントへの参加

エコネット町田が加入中の上記協会の秋のイベントに参加しました。以下簡単に概要をお伝えします。

### ① まちづくりの輪を広げる集い：10月2日 東村山市市民ホール

昨年は三遊亭らん丈さんが講師をした会合です。協会加入団体が集まり互いの活動の実情をグループで話しあい意見交換をするものです。

今回の講師は立川の大山団地自治会（約4000人）の佐藤良子さん。この自治会は加入率100%、活発な多様な活動している団地として注目されている。ポイントは住民が主人公のまち作り・能力を有する人材登録・若い人の知見利用・定例業務のビジネス化の4本柱がまちおこしの鍵との話に皆さん感銘し納得した様子でした。

その後のグループ討議は3グループに別れ、会員の高齢化対応などの共通問題のほか、それぞれの成功事例や悩みを語り合い参考になる点もあったようでした。

### ① 2019 都民フォーラム 11月20日 東京都教職員研修センター

#### 真光寺川を清流にする会の山本代表がパネリストで登壇

このフォーラムは環境問題をテーマに21年間にわたり、実施しており昨年は「廃プラ問題」をテーマにエコネット町田はパネリストとして瀬川会長が活動実態を報告しました。今年は高齢化の現状、メンバーの高齢化で活動の停止・縮小が見られるなか、地域活動のありかたの方向を考えようと企画され、「真光寺川を清流にする会」の山本代表が登壇し活動の経緯・現状などを報告し質疑が行われました。

他のパネリストは「カタクリの会」の磯崎さん。会員同士の心と体の健康願いウォーキング・ハイキングを20年続けている団体でした。この会の活動は、特に安全・安心を旨とする事前調査を行い、企画運営にも参加してもらい、健康増進に寄与のほか会員のやりがい・生きがいづくりに寄与しているとの報告でした。

国分寺市の高木町自治会の前会長の櫻井さんからは防災での街づくりの苦労の話でした。昭和53年の宮城沖地震でブロック塀倒壊による死傷事故を契機に、自治会が中心となり「塀づくり憲章」をまとめ、町内のブロック塀を見直し生垣やフェンスに推奨する運動で、このユニークなまちづくり活動は内閣総理大臣表彰を受賞。（瀬川記）

## 町田ボランティア連絡協議会のイベントに参加して

町田ボランティア連絡協議会は一昨年 20 周年を迎え、エコネット町田は同連絡協議会に当初からのメンバーとして参加してきました。この協議会は町田市社協の支援のもとに活動していますが、会員の高齢化などで退会する団体も増え、新規活動する個人・加入団体をいかに確保するかが課題になっています。

このため町田ボランティア連絡協議会は毎年秋に、これからボランティアを始めようとしている方を対象としたイベント「ここボラ」開催（10月26日、健康福祉会館）と、まちカフェ（12月1日：町田市庁舎）に出展ブースでのPRを続けています。

エコネット町田は「ここボラ」での参加団体12団体とともに活動の展示などを行いました。当日は「町田時代まつり」と重なったためか市民の参加は少なく、女性が多かったという印象でした。

一方、まちカフェは来場者数が8000人を超し大賑わいでした。社協と並んで連絡協議会も出展しました。連絡協議会のPRがメインですが、われわれの活動PRのチラシを配布し来場者に声かけをしました。（瀬川記）

## 行 事 案 内

### 実 施 日

行事名	実施場所	1月	2月	3月	開始時間
恩田川清掃	坂下橋付近	—	6	5	10時
真光寺川清掃	真光寺川全域	—	9	8	9時半
境川清掃	鹿島橋付近	9	—	12	10時
推進連絡会	フォーラム4階活動室	28	25	22	14時

（注）恩田川の1月は正月につき中止とします

真光寺川の1月は清掃に変わり新春散策となります

- |            |                                                                                 |                  |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| ・エコネット町田通信 | 第97号                                                                            | 2019年12月22日発行    |
| ・発行人       | 瀬川 晋                                                                            |                  |
| ・郵便番号      | 194-0031 町田市南大谷 1327-128                                                        | Tel 042-722-2827 |
| ・エコネット町田HP | <a href="http://ekonetmathida.web.fc2.com">http://ekonetmathida.web.fc2.com</a> |                  |